



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第1号 [4月号]



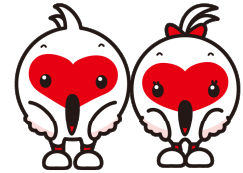
平成31年4月25日発行

シリーズ「新しい時代の幕開け」

令和

校長 笠井 猛雄

4月8日、新年度1学期の始業式。



今年度も よろしく
お願いいたします。

校長先生はこれから何のお話をするのでしょうか？

いきなりこのように問われ、しかもノーヒントにもかかわらず、10名程度の子の手が挙がりました。

指名して答えてもらおうと、「トキ」と「元気」という回答がありました。

「トキ」は、いわば行谷小の「専売特許」と言ってもいいでしょう。

今年度も「日本一のトキの学校」として、全校体制でトキ学習を進めます。

「元気」について話をしたのは、ちょうど一年前でした。

覚えていた子も多かったようです。

昨年度の1学期の始業式、「出しても出しても減らないで、出せば出すほど、どんどん出てきて増えていくものって何でしょう？」というクイズから、「元気が出る学校」を創る取組を進めてきました。

もちろんこの取組は今年度も継続します。

「元気があれば何でもできる!」、やっぱり「元気が一番!」です。

さて、何の話をするのか、答えを発表します。

答えは、「令和」であります。

4月1日に新しい元号が発表されました。

今日は、新しい元号「令和」についてお話をします。



元号の意味を説明し、「明治」「大正」「昭和」「平成」というこれまでの元号の変遷を確認した後、「令和」に込められた願いについて、次のように説明しました。

「時に、初春の令月にして、気淑(よ)く風和ぎ、」

1つ目は、みんなで仲良く、心ひとつにして、「明るく美しい日本をつくろう!」という願いです。

「梅は鏡前の粉を披(ひら)き、蘭は珮後(はいご)の香を薰(かほ)す」

2つ目は、一人一人が夢をもって、それぞれの花を大きく咲かすことのできる「夢と希望に溢れる日本をつくろう!」という願いです。

【注】2019.4.1 安倍首相の会見から解説(『万葉集』巻五、梅花の歌三十二首併せて序より)

5月1日から新しい元号に変わり、いよいよ新しい時代の幕が開きます。

今年度は、新しい時代のスタートの年です。

教職員一同心をひとつにして、新しい時代にふさわしい学校づくりに尽力します。

最後に、子どもたちにエールを送りました。

「令和時代」は、みなさんの時代です。

明るく美しく、夢と希望に溢れる行谷学校を創っていきましょう。

皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。